

第3回 「（仮称）第2次札幌市立高校教育改革方針の策定に向けた検討会議」

協議中間報告

～これまでの協議を踏まえた次期高校改革の方向性について～

令和8年8月7日

札幌市教育委員会

平成15年～
札幌市立高等学校改革推進計画

平成29年～
札幌市立高校教育改革方針

令和5年～
札幌市立高校教育改革方針（改訂版）

①各学校の魅力化・特色化

生徒の多様な興味・関心、進路希望に対応し、生徒一人ひとりの個性を最大限に伸ばさせる特色ある学校づくりを推進。

②市立高校合同の取組

他校の生徒との交流、学び合いの中で生徒同士が高め合える、学校の垣根を超えた学びの場の創出。

③地域等との連携・協働による学び

地域や企業、大学等との連携を一層強化。
学校外の教育資源を最大限活用し、地域社会に開かれた特色・魅力ある教育活動を充実。

①各学校の魅力化・特色化

- 2004年 旭丘高校が単位制に移行
開成高校にコスモサイエンス科を開設
- 2005年 平岸高校にデザインアートコースを設置
清田高校にグローバルコースを設置
啓北商業高校の商業科を未来商学科に学科改編
- 2008年 三部制・単位制の新しいタイプの定時制高校を開校（大通）
- 2015年 開成高校を改編し市内初の中等教育学校開校（開成中等）
- 2020年 清田高校が単位制に移行
- 2021年 藻岩高校が単位制に移行
各校のスクール・ミッションを再定義、三つの方針（ポリシー）の策定・公表
- 2022年 旭丘高校に数理データサイエンス科を開設
- 2027年 彩輝高校が開校



①各学校の魅力化・特色化



市立札幌
彩輝高等学校

SAPPORO SAIKI HIGH SCHOOL

スクール・ミッション

地域と社会に学び、対話と挑戦を核とし、探究と実学を通して学びを深め合いながら本物の経験を積み重ね、多彩な未来を自分たちの手で創れる人を育成する学びの場

Future Design Department

未来デザイン科

(普通科・定員200名)

ありたい未来の姿を描きながら、
他者と協働し、形にできる人を育成

Business Innovation Department

ビジネスイノベーション科

(商業科・定員120名)

地域や社会に変化を生み出し、
未来のビジネスをリードできる人を育成



彩輝高校 の特徴

枠を超えた つながり

- 学科や学年を超えた相互の学び
- 自分や他者とのつながり
- 大人や地域・社会とのつながり

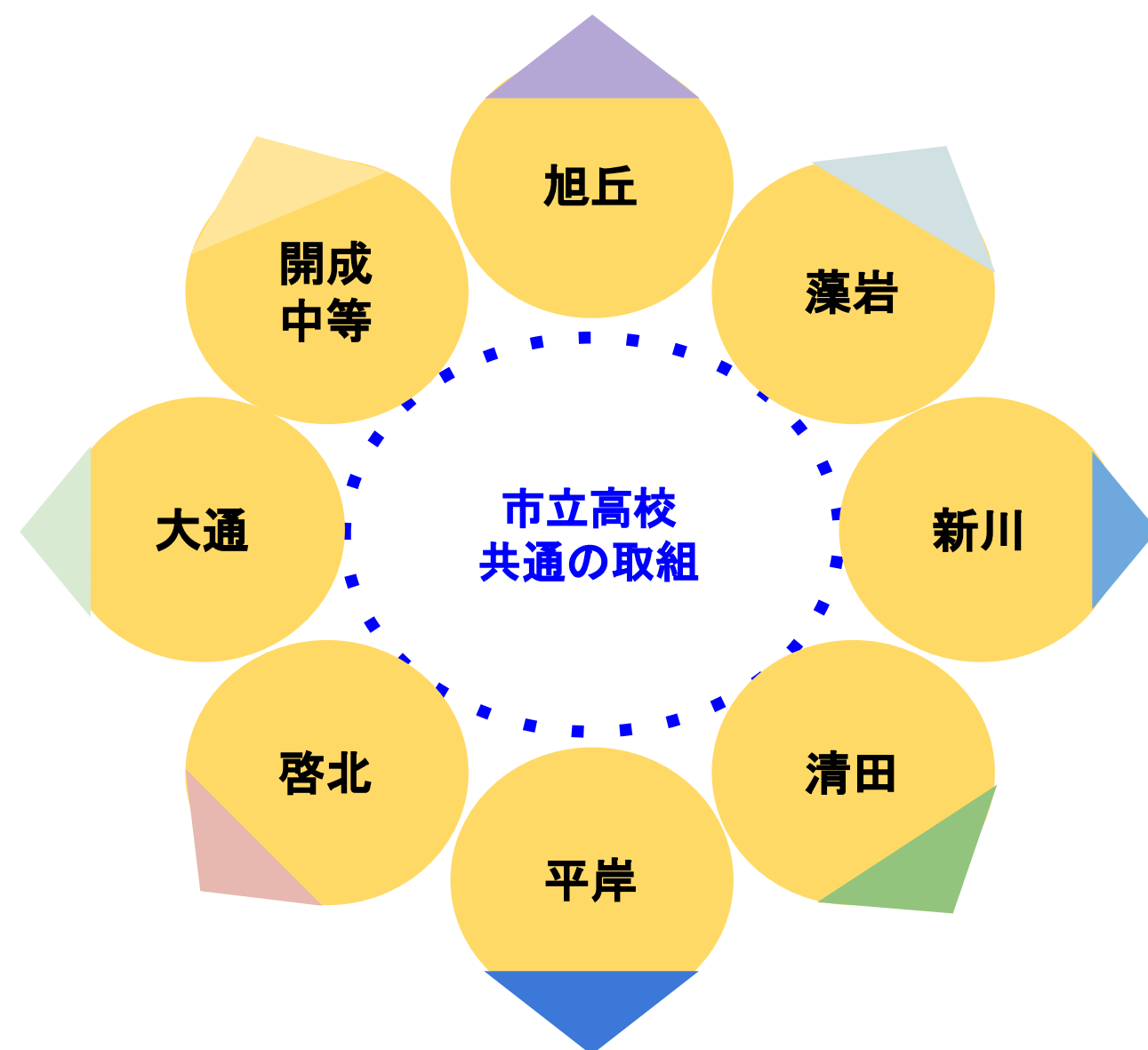
自分で選び 自分でつくる学び

- 単位制 [学びたい科目を選択]
- 放課後を自分でデザイン
- 生徒が主体となった学校自治 [行事や仕組を自分たちでつくる]

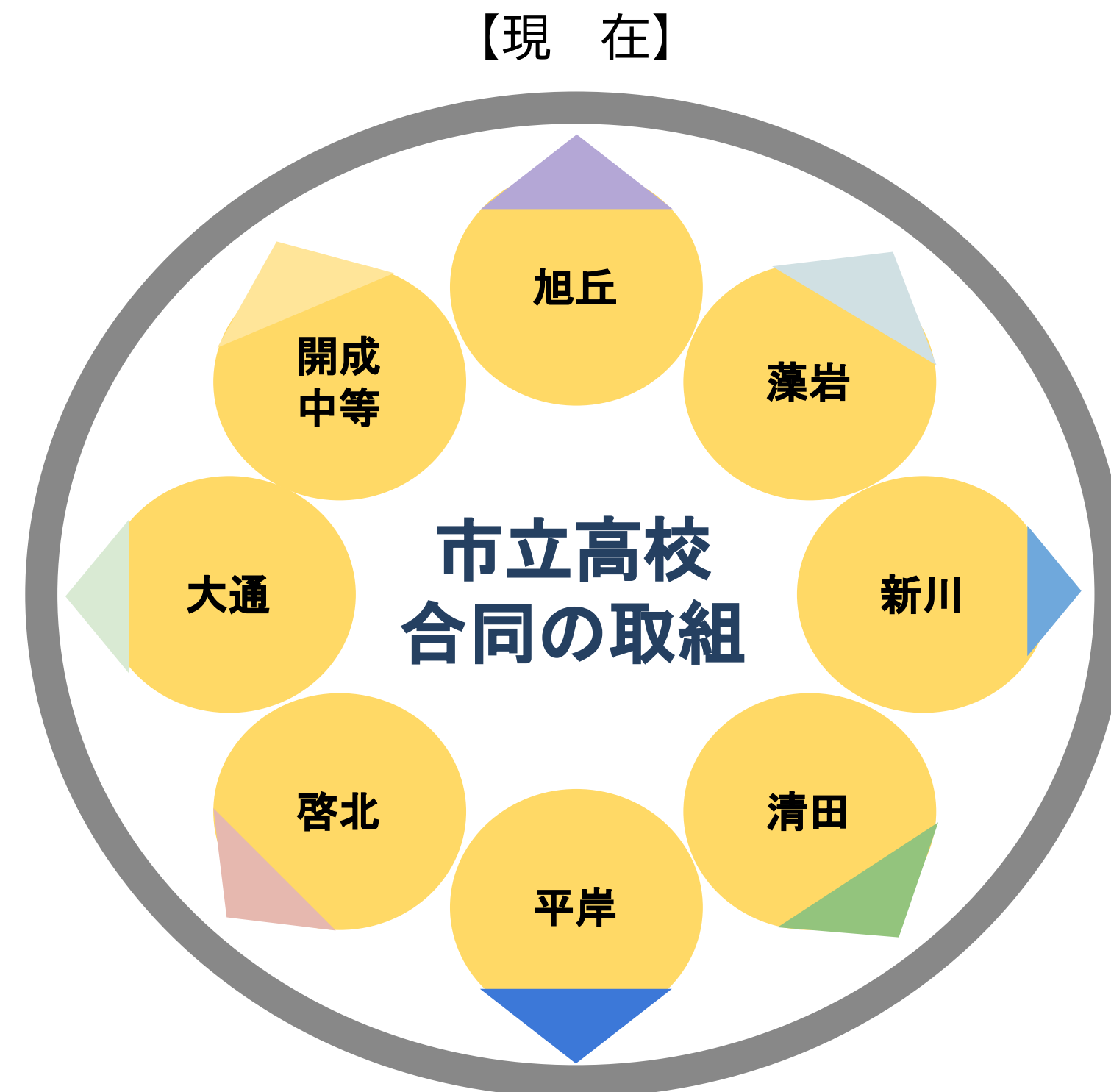
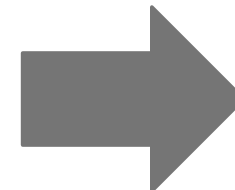
探究的な 学びの充実

- 探究の視点を
取り入れた教科学習
- 商業に関する科目
[外部との連携による実践的な学び]
- 学彩探究 [教科横断学習]

②市立高校合同の取組



(改革推進計画 H15～)



(教育改革方針 H29～)

進路探究セミナー

市立高校等8校に入学した生徒、約2,000名が
将来の生き方や進路について考えることを目的として毎年5月に開催





札幌市立高校プレゼンテーション大会

偏差値だけで決めているのかな？
高校って、どうやって選ぶの？
高校生活って、どんな感じ？
先輩はどうやって選んだの？
夢中になれること、見つける？
高校に行ったら勉強と部活以外に何かある？
将来やりたいこと、どうやって見つけるの？

まずわっ！ 中学生のみなさん 集合～！

地下鉄大通駅直達！
2023.03.08 (日)

札幌文化芸術交流センター SCARTS
さっぽろ創世スクエア内（札幌市中央区北1条西1丁目）
13:00-17:00

参加無料 事前申込み不要 出入り自由 服装自由



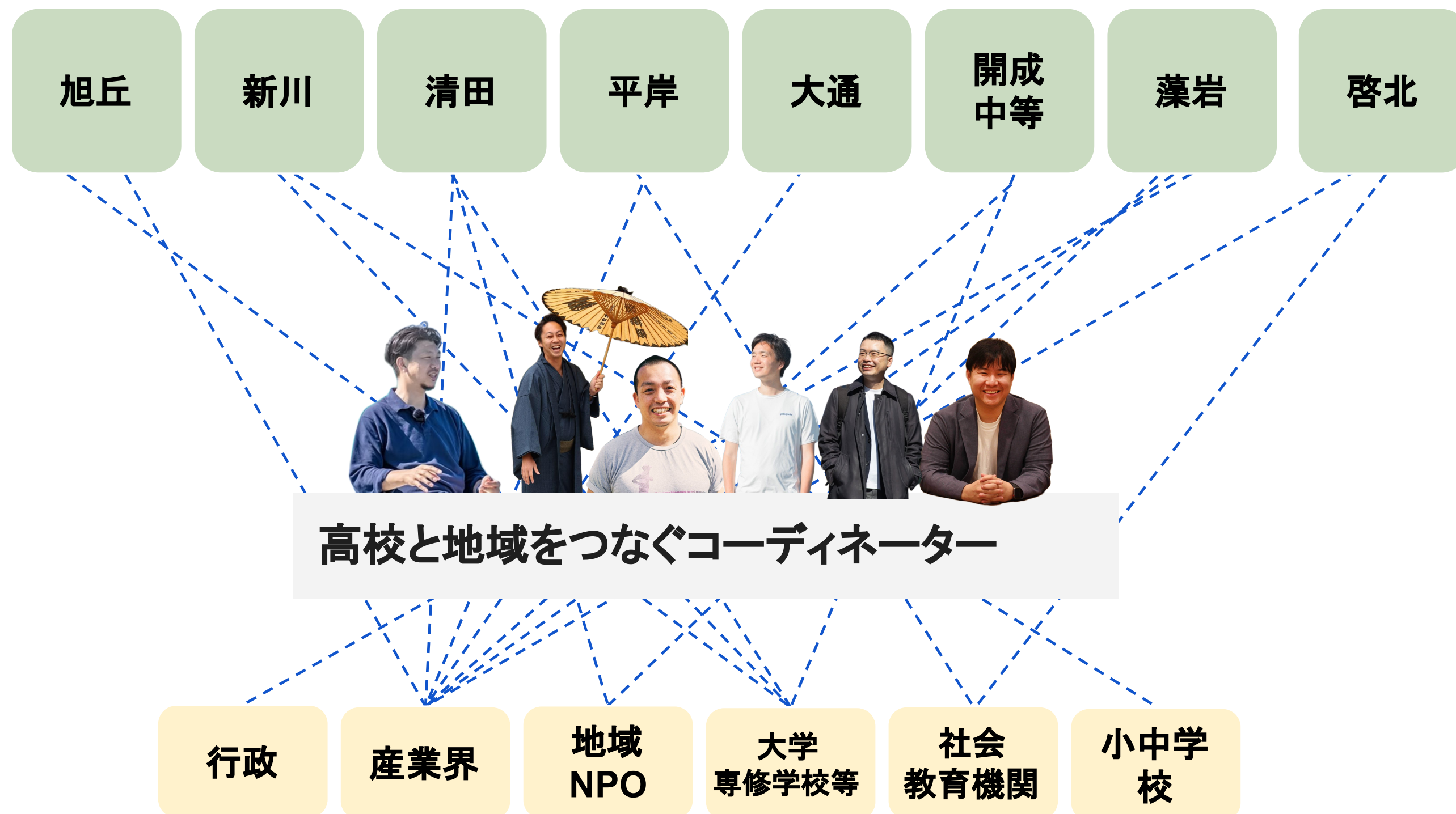
市立高校プレゼンテーション大会

市立高校の特色ある取り組みや探究学習活動について、中学生や地域の方に理解を深めていただくとともに、市立高校の生徒同士の学び合いの機会を創出



③地域等との連携・協働による学び

「高校と地域をつなぐコーディネーター」を配置し、地域や企業、大学等との連携を強化。社会に開かれた教育課程や地域創生の核となる市立高校の実現に向けた取組を推進。





地域や企業等との連携・協働による学び

地域を学びのフィールドとして、多様な価値観に触れたり、大人と協働することにより、「自分たちにもできる」という生徒一人ひとりの自信につながる学びの機会の創出

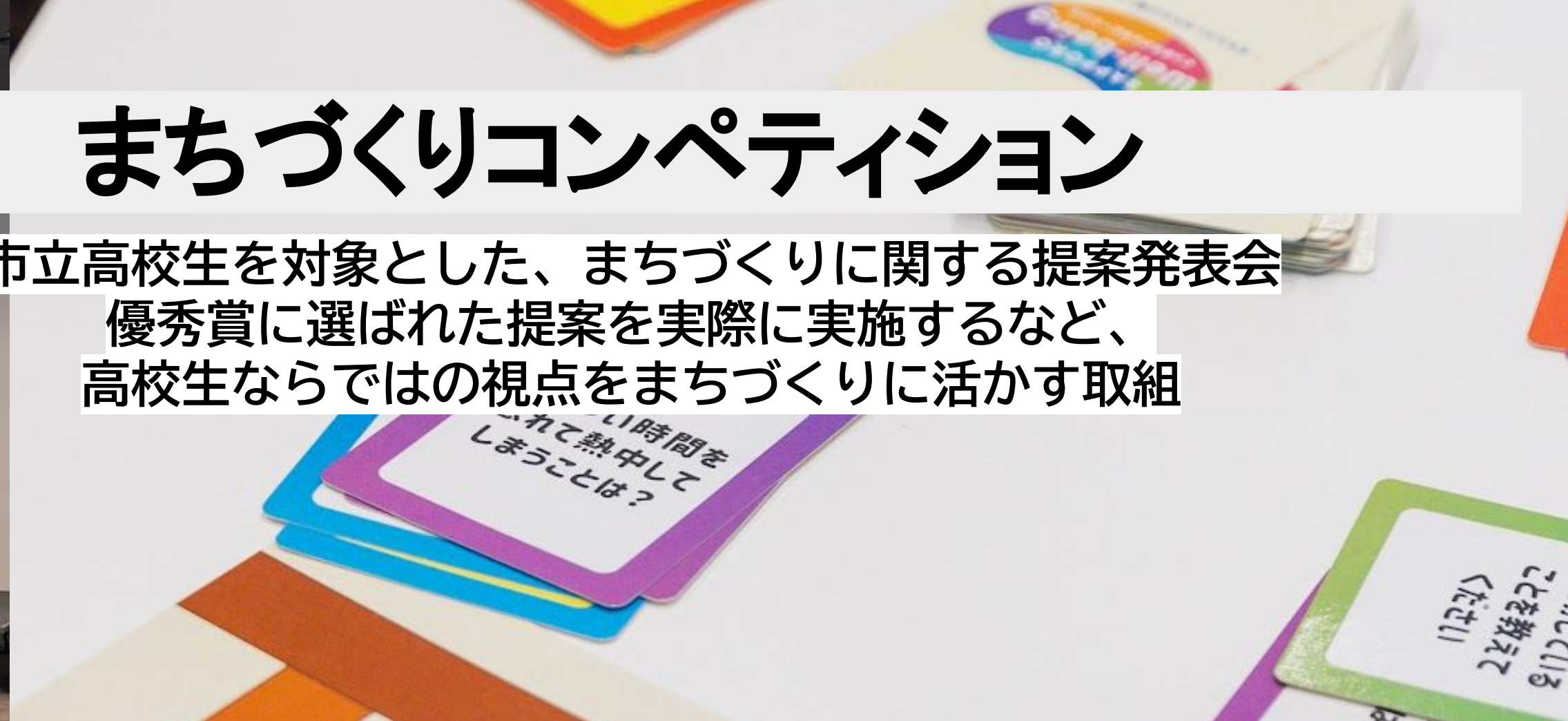


南区は河川や丘陵地が多いため、大雨などの自然災害時には洪水や土砂災害による被害の危険性があります。今回の特集では、市立札幌藻岩高等学校の2年生9人が防災について体験し、学んだことを紹介します。



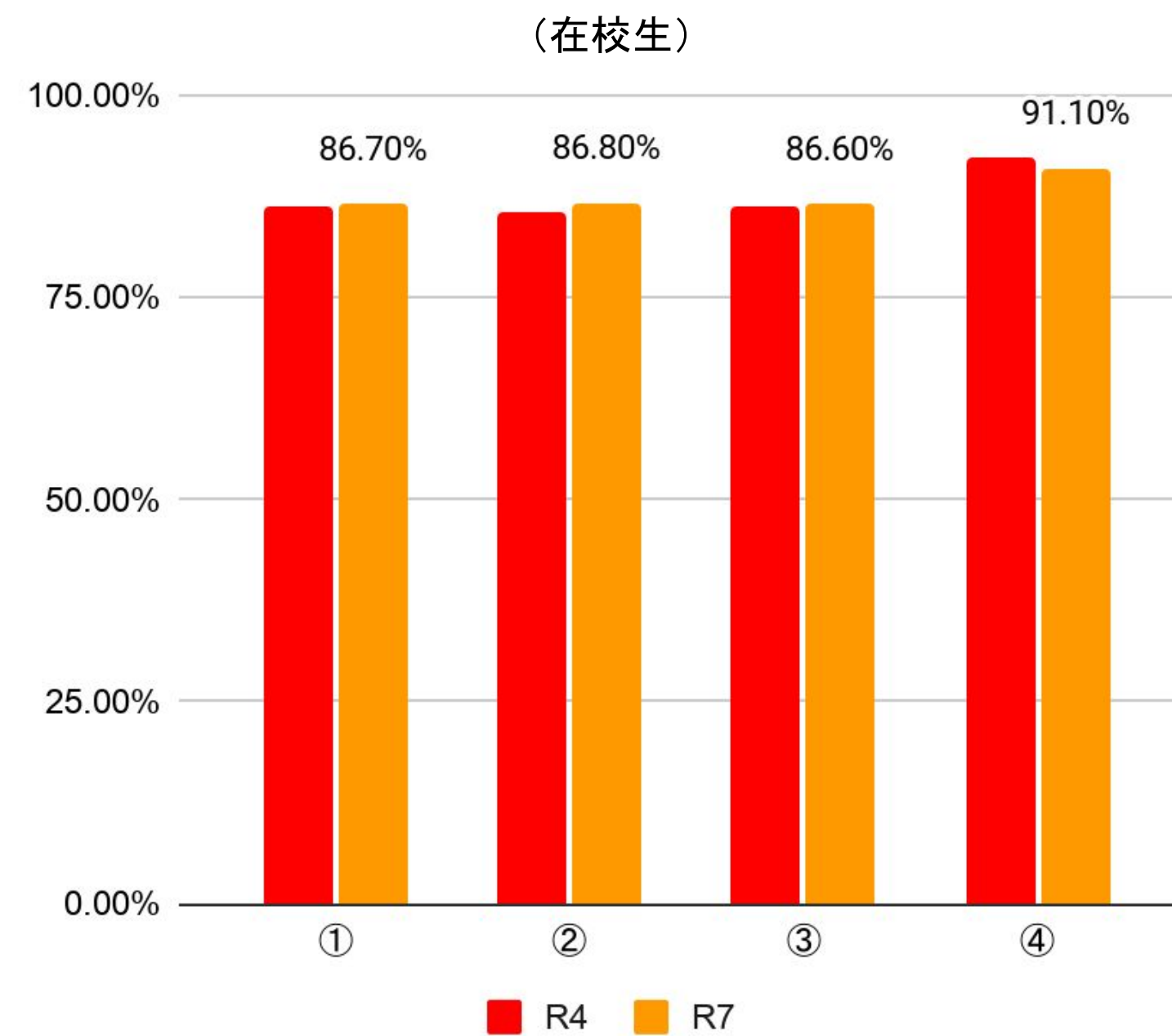
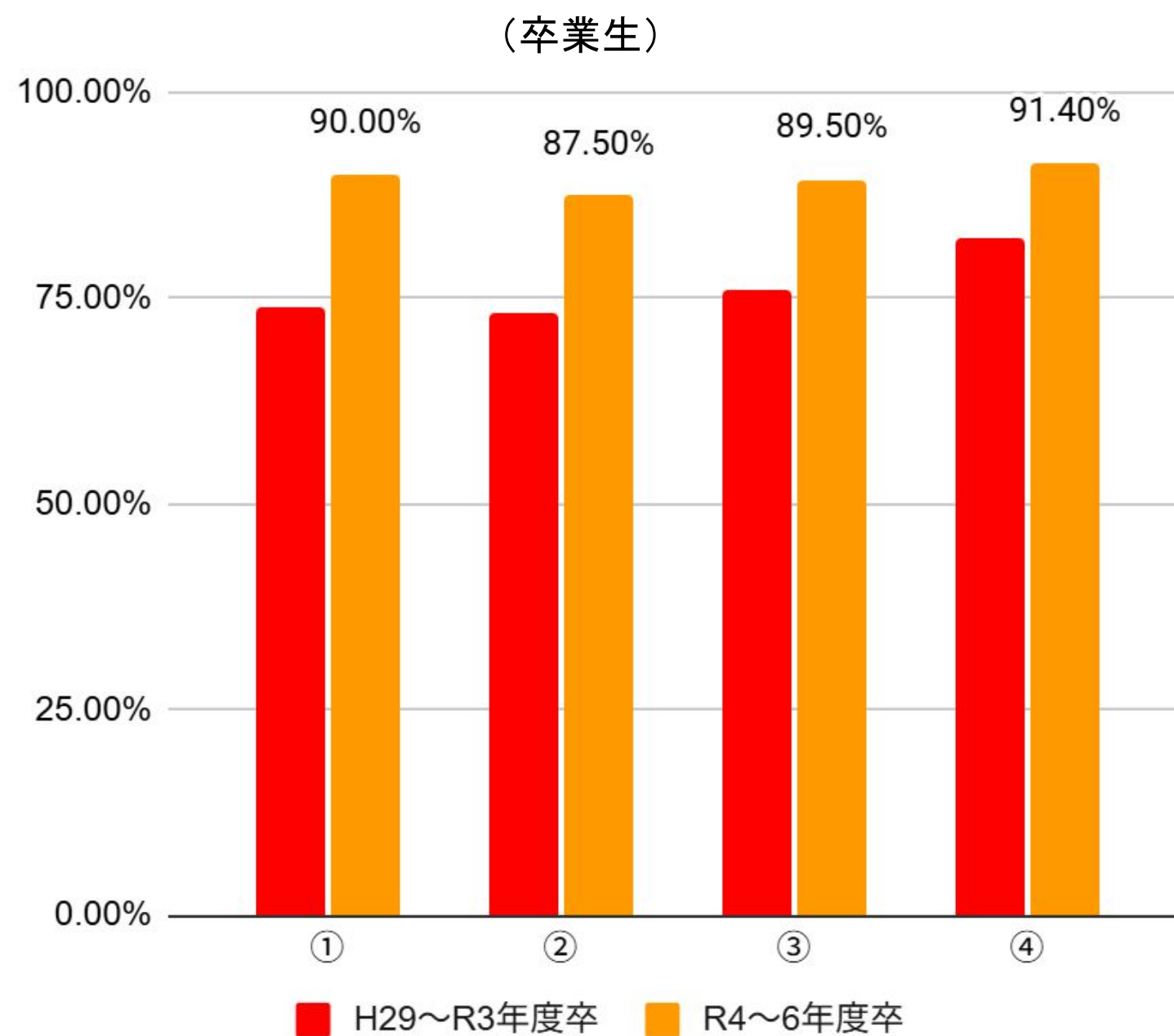
まちづくりコンペティション

市立高校生を対象とした、まちづくりに関する提案発表会
優秀賞に選ばれた提案を実際に実施するなど、
高校生ならではの視点をまちづくりに活かす取組



教育活動や学校生活を通じて向上した能力

- ① 学んだことを応用する力
- ② 課題や問題を発見する力
- ③ 課題や問題を解決する力
- ④ 他者との共通点や違いを理解、尊重しながら協働する力



教育活動や自身の現在の状況（肯定的な回答の割合）

① 教育内容の満足度

高校での教育内容は、全体的に満足のものだと思う。

② 主体的に学ぶ力の育成

高校での学習は、主体的に学んでいく力を伸ばすことに効果があると思う。

③ 興味・関心の拡大

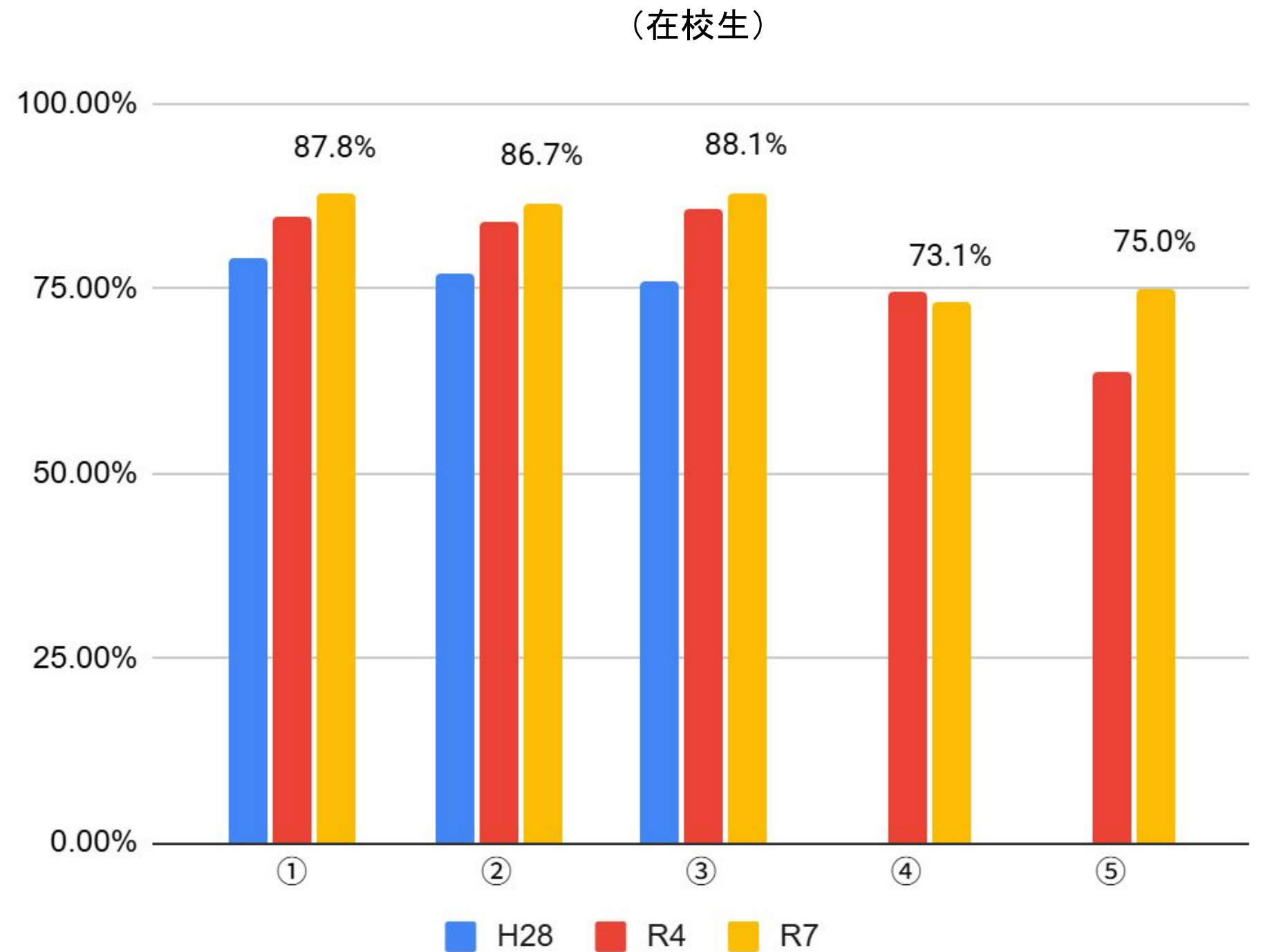
高校での学習は、自分の興味や関心を広げるものだと思う。

④ 自身の状況

現在の自分は自らの人生を主体的に生きていると思う。

⑤ 地域への貢献意識

将来的に札幌に貢献したいという意識がある。



教育活動や学校生活でもっと増やして欲しい学習機会

もっと自分の興味・
関心に応じた授
業を受けたい！



他の市立高校生と
もっと一緒に学べた
らいいな。

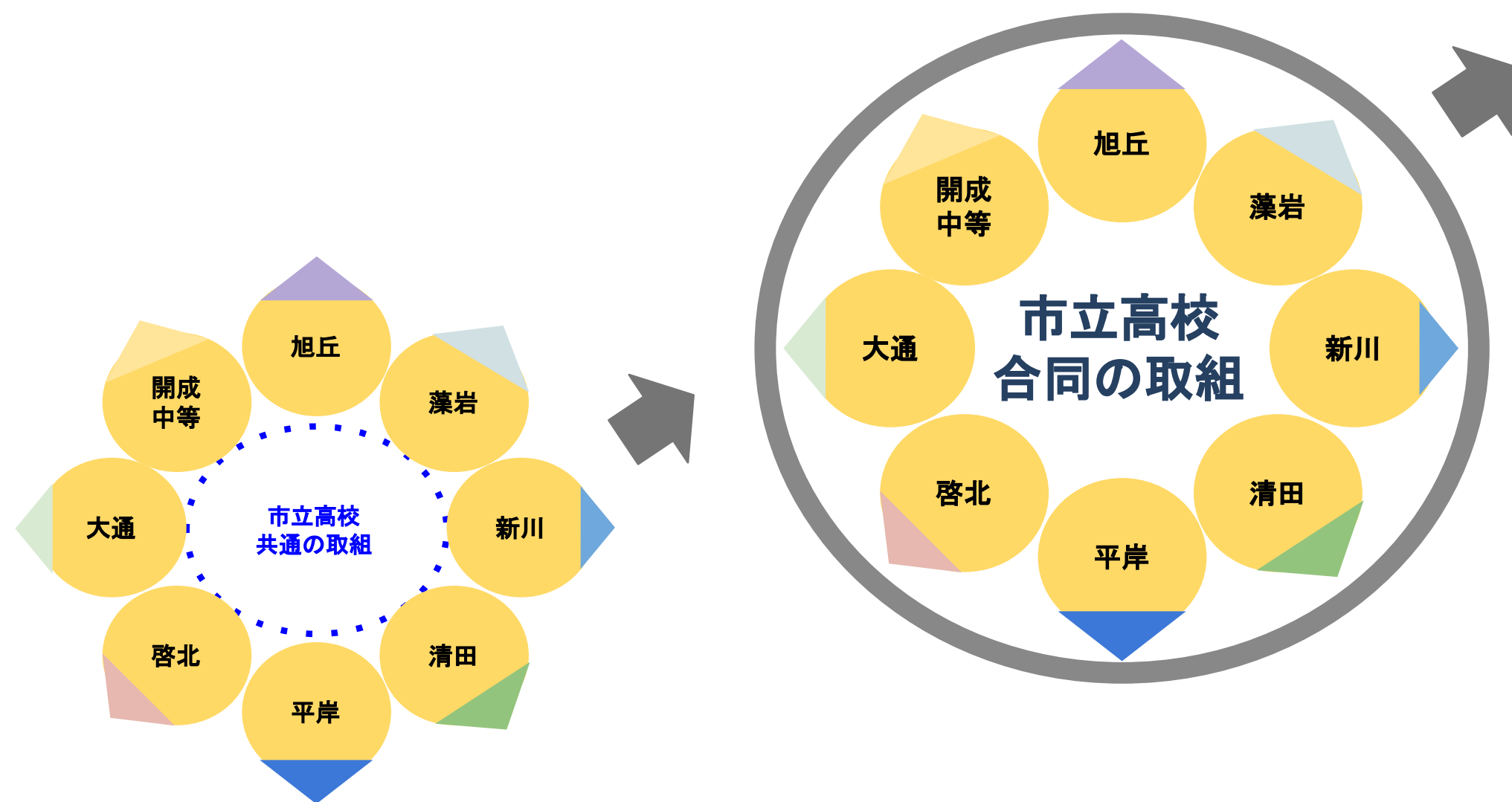


〇〇高校のあ
の授業を受け
てみたい！！



次期改革に向けた検討

予測困難な変化の時代に、
生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に対応し、
生徒一人ひとりの可能性を広げ能力を最大限に伸ばす、
これからの市立高校のカタチとは？



さらなる
カタチ？

次期改革に向けた検討

検討会議

学識者や経済関係者、保護者、卒業生、学校関係者等による21名で組織



- ◆ 専門的知見
- ◆ 大局的・多角的な視点
- ◆ 外部評価

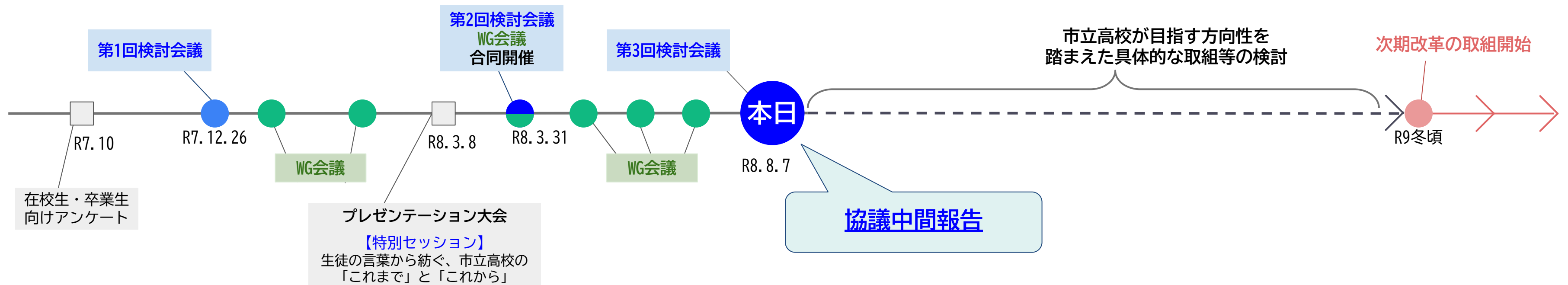
検討ワーキング会議

市立高校教員、高校と地域をつなぐコーディネーターによる13名で組織



- ◆ 実務的な視点
- ◆ 課題抽出
- ◆ 具体的取組

横断的連携
により協議



検討会議・WG会議から出された意見

【市立高校のあり方や役割に関する意見】

- 小・中・高の学びの連続の中での高校教育の役割は何か、立ち戻って考える必要があるのではないか。
- 市立高校が存在することの公共的な意味をどう考えるか意識する必要があるのではないか。
- まちづくりは人づくり。市が設置する高校として札幌市が目指す都市像やまちづくりの考え方を踏まえた取組が必要。
- 札幌全体を幸せにする教育や、地元愛を育む教育を期待する。
- 生徒だけではなく、生徒の学びを支える大人同士がどう学び合っていくかという視点も重要。

【市立高校で育む生徒に関する意見】

- 高校3年間でどのような資質・能力を身に付ける必要があるか考えたときに、社会に出ていくためには、やはり「非認知能力」は大事。
- テクノロジーへの探究心を持ち、活用できる人材になって欲しい。グローバルな視点で、様々なことに挑戦・チャレンジして欲しい。
- 「育てたい生徒像」という表現が、逆に生徒を枠にはめてしまうことにはならないか。

検討会議・WG会議から出された意見

【学びの環境に関する意見】

- 様々な先生や社会の大人との出会いが、自身の幅を広げる機会となった。自分の芽や成長の機会に気が付けるような、色々な扉が生徒の周りにたくさんあるといい。
- 各校の魅力を他の市立高校の生徒も享受できるような仕組みや、他校の生徒と学び合える機会がもっとあったらいいのではないか。
- 高校生活の中で生徒全員がうまくいくわけではないので、誰一人取り残さないという視点で、そういう生徒に目を向けた取組みやプログラムも必要。
- 生徒の主体性を引き出すためには、先生自身が楽しむことも重要。生徒は先生の姿を見て未来にワクワクする。

【学校や教員を支える仕組みに関する意見】

- 小・中・高・大の接続を意識し、校種を超えた教員同士の学びの共有も大切ではないか。
- 改革を持続的に展開していく上で、先生方をどのように応援していくか。個人の努力だけに委ねるのではなく、制度としてどう支えていくかが重要。

これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

#探究 #人口減少 #持続可能なまちづくり #小中高大の接続 #ジェンダー
#文理横断 #理系人材 #共生 #グローバル #不登校
#教員の学び #シビックプライド #イノベーション
#A I #多様な進路 #挑戦 #開かれた教育課程

各校の取組のさらなる充実、特色化に加え、
それぞれが培ってきた強みを共有資産とすることで、
単一の学校では成し得ない挑戦や多様なニーズに、

学校群（市立高校コミュニティ）として応えていく、

新たな市立高校の可能性を開く時代に突入してきたのではないか。

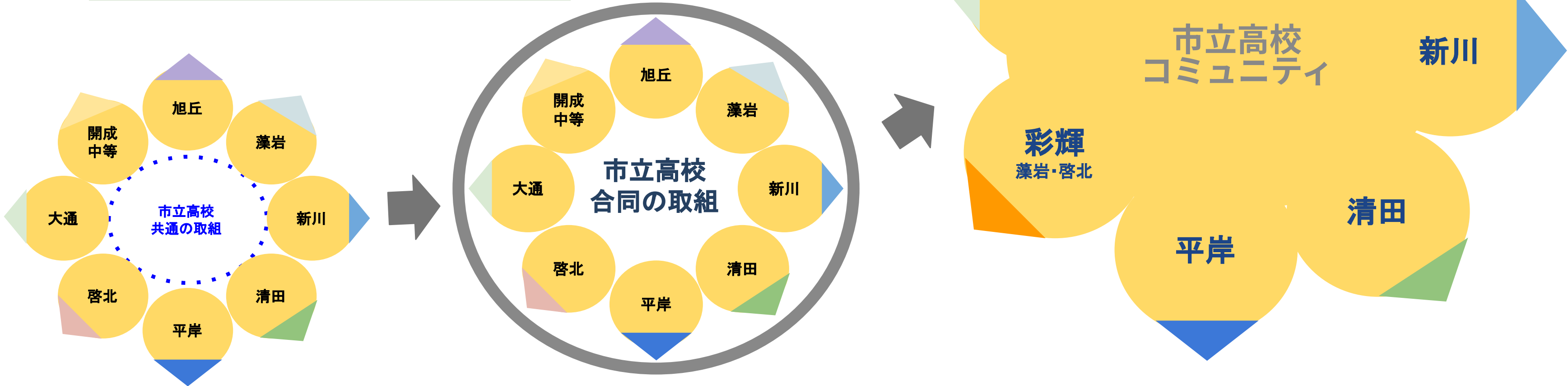
これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

市立高校のこれからのカタチ①

学校の枠を越えて生徒や教職員がつながり、
授業や探究プロジェクトなどの
『それぞれの学校の取組』を持ち寄って一緒に磨き上げ、
市立高校全体の学びへと高めていく連携のカタチ

市立高校コミュニティ



これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

市立高校のこれからのカタチ①

第2期札幌市教育振興基本計画が定める「札幌市の教育が目指す人間像」

自立した札幌人

- ・ 未来に向かって新たな価値を創造し、主体的に学び続ける人
- ・ 自他のよさや可能性を認め合い、しなやかに自分らしさを発揮する人
- ・ ふるさと札幌に誇りをもち、持続可能な社会の発展に向けて行動する人

予測困難な時代を迎える中で、市立高校が果たすべき役割を明確化するため、

市立高校コミュニティとしての**スクール・ミッション**を新たに定義

【各校のスクール・ミッション】



これまでの協議で見てきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

市立高校のこれからのカタチ①

市立高校コミュニティのスクール・ミッションの考え方



次期学習指導要領の目指す姿や国の高校改革の動向を見据えるとともに、札幌市が掲げる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の概念や、札幌市の教育が目指す「自立した札幌人」の育成を根幹に据え、これまでの検討会議及びWG会議での協議内容も踏まえて整理

（国の改定審議の中で示されている次期学習指導要領の主な方向性）

- ・自らの人生を舵取りする力の育成
- ・主体的・対話的で深い学びの実装
- ・民主的で持続可能な社会の創り手の育成
- ・「好き」を育み、「得意」を伸ばす
- ・多様性の包摂

（国の高校教育改革に関する基本方針で示されている主な方向性）

- ・「自ら問いを立てる力」「他者とともに価値を創り出す力」の育成
- ・地域の経済、社会の発展を支える人材の育成
- ・イノベーションを興す力を底上げする起点
- ・学ぶことの意義を実感しながら探究的、実践的な学びを進める学習観への転換

（まちづくり戦略ビジョンが掲げるまちづくりの重要概念）

- ・誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会
- ・誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会
- ・新たな価値の創出に挑戦できる社会

これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

市立高校のこれからのカタチ①

第2期札幌市教育振興基本計画が定める「札幌市の教育が目指す人間像」

自立した札幌人

- ・ 未来に向かって新たな価値を創造し、主体的に学び続ける人
- ・ 自他のよさや可能性を認め合い、しなやかに自分らしさを発揮する人
- ・ ふるさと札幌に誇りをもち、持続可能な社会の発展に向けて行動する人

好奇心を力に
探究する場

境界を越えて
共に歩む場

自分を理解し
深める場

【各校のスクール・ミッション】

旭丘

藻岩

新川

清田

平岸

啓北

大通

開成
中等

彩輝

これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

市立高校のこれからのカタチ①

好奇心を力に
探究する場

一人ひとりの「なぜ」「知りたい」を力に、自ら問いを立て、試行錯誤や対話を重ねながら探究を深め、一人ひとりが学びの主体となる場。

自ら考え、行動し、学び続けながら未来を切り拓く力を培う。

境界を越えて
共に歩む場

人や場所、文化や思想等の枠組みを飛び越え互いを認め合い、響き合い、つながる場。

社会の一員としての責任感や協働する力を培う。

自分を理解し
深める場

自己対話や他者との関わりの中で、自らの強み・弱み、関心、大切にしたい価値観等を多角的に見つめ直す場。

自己効力感・有用感を育みながら、自らの意思で人生の進路を選択設計する力を培う。

これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

市立高校のこれからのカタチ②

市立高校・地域・企業・大学等が連携し、「各校」と「市立高校コミュニティ」の教育活動の活性化と充実を目指す協働の仕組み（コンソーシアム）。

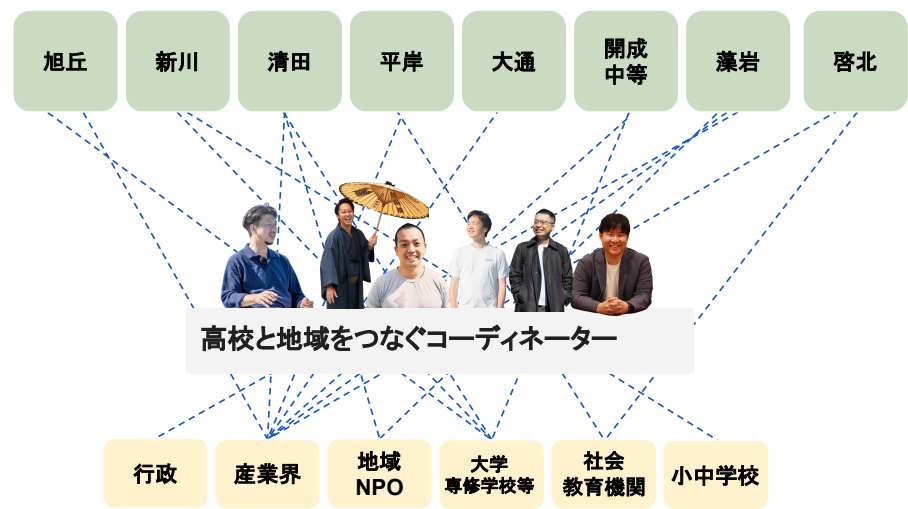
地域を学びのフィールドとした学習活動や探究学習の推進、それらを支える教職員や大人同士がつながり・学び合う関係性の構築を通じて、
持続可能な地域社会の担い手育成と、
高校を核とした魅力ある地域づくりを
目指す。



これまでの協議で見てきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

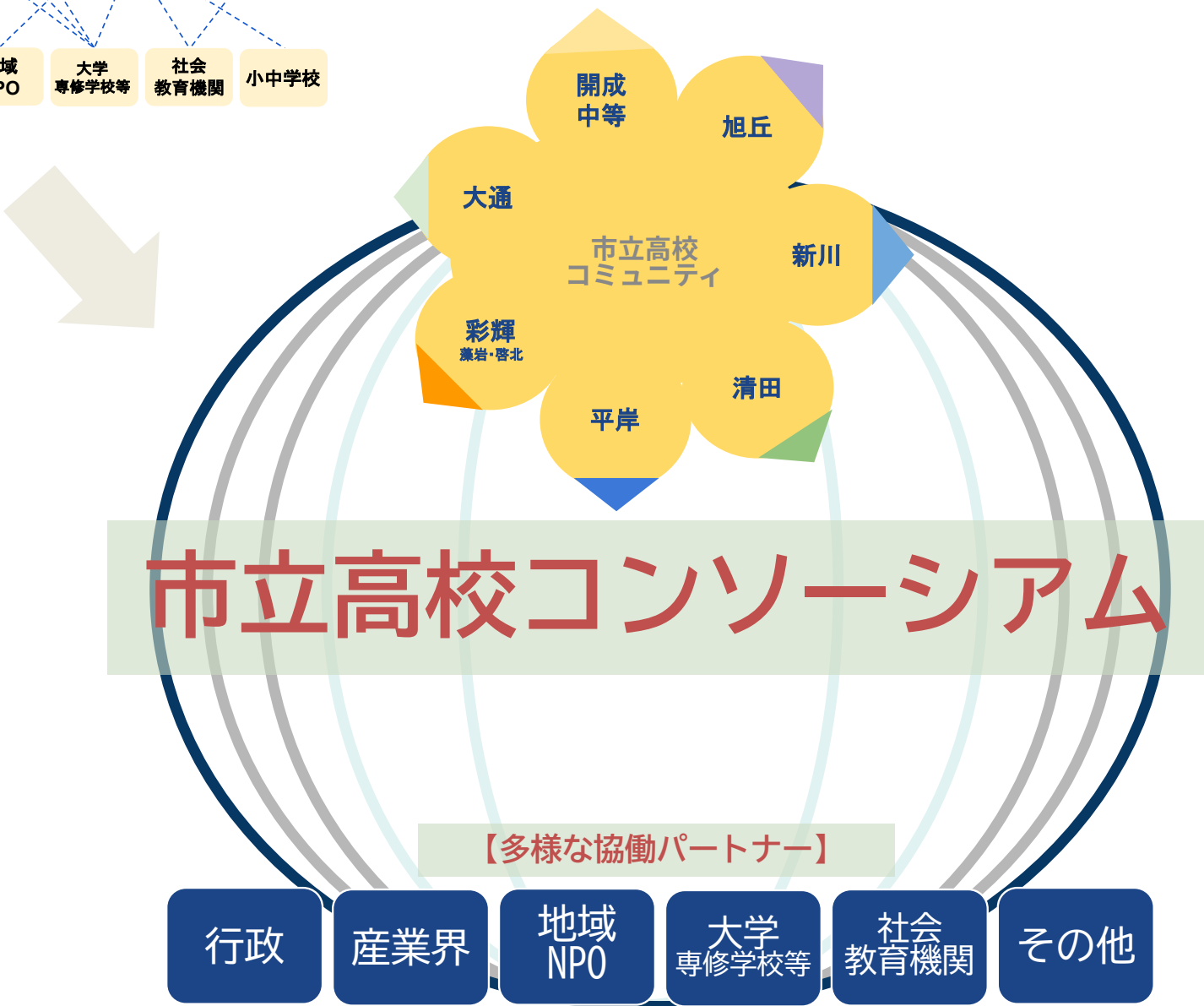
これまでは...
高校と地域をつなぐコーディネーター（人材）の配置



これからは...
取組推進の基盤となる（仕組み）の構築

【コンソーシアム構築による効果】

- 高校に関わる様々なステークホルダーが共通の目標を持ち、一体となって教育活動の充実や生徒の資質・能力の育成、学校や教員を支える取組を展開
- 多様な社会人等との関わりや対話の機会が増えることで、将来の生き方や進路選択の視野が広がる。
- 各団体の多様な価値観や強みがコンソーシアム内で交わることで、新たなアイデアや取組が創出
- 特定の教員やコーディネーターの属人的なつながりから、組織的なつながりに変わること、持続的な協力関係を構築
- 単なる「生徒の活動の場を広げる」ことにつながるだけでなく、関わる大人同士が学び合える場の創出



今後検討を進める
上での考え方

全体イメージ

Point1【市立高校コミュニティ化】

(取組例)

- ・他校の特色ある授業の履修（単位認定）
- ・専門性の高い教員による授業を他校共有

【市立高校群のスクール・ミッションを定義】

- 好奇心を力に探究する場
- 境界を越えて共に歩む場
- 自分を理解し深める場

Point2【各校のさらなる特色化】

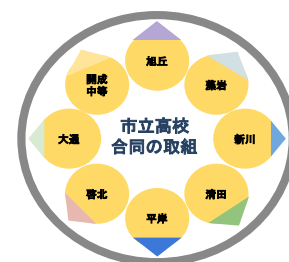
(取組例)

- ・課題探究的な学習の充実
- ・学科、コースの充実

Point3【各校と市立高校コミュニティの取組み支える仕組みづくり】

(取組例)

- ・Point1・2の充実を図るためのコンソーシアムの構築
- ・多様な他者との学び合い、教員の学びの場の創出



引き出したい
生徒の姿

同じ市立高校でも、
他校ではこんな授業
があるんだ！わたし
も参加してみたい！

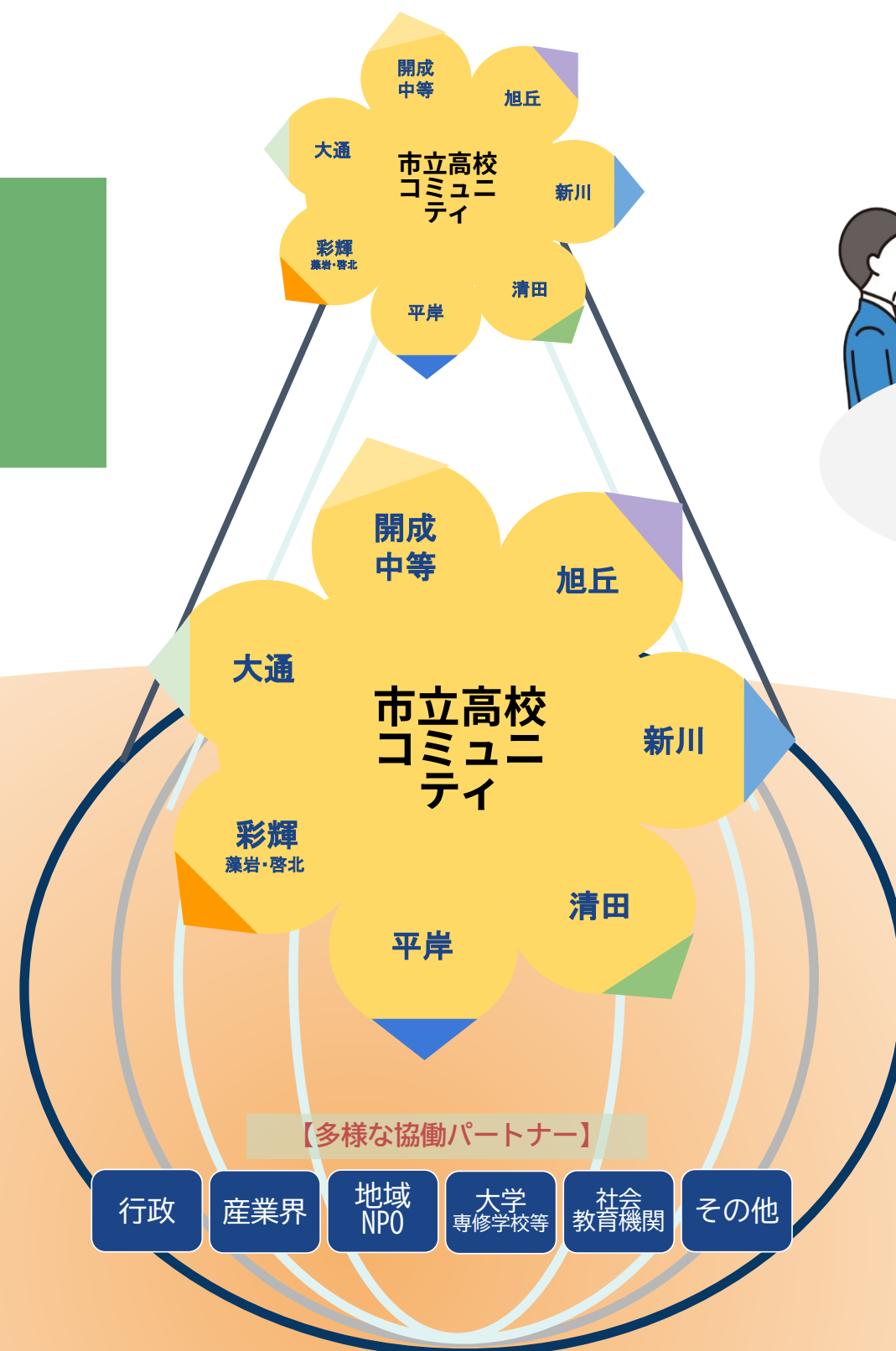
私も〇〇高校の
〇〇先生の授業を
受けてみたい！

あの授業のおか
げで、将来活か
せそうな力がつ
いた！

探究学習をきっかけ
に将来やりたいこと
が見つかった！

実際に社会で働く大
人と触れ合う時間
の中で学べる事ってた
くさんあるな！

いろいろな人との対話
によって、自分の考え
が広がっていく！



これまでの協議で見えてきた方向性

今後検討を進める
上での考え方

基本的方向性①

「各校の特色」と「市立高校コミュニティ」を活かした生徒の個性や能力を伸ばす 質の高い教育活動の充実

市立高校の強みを活かし、これからの複雑で正解のない社会を生きていくために必要となる、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度や、思考力・判断力・表現力、その基礎となる知識・技能をバランスよく育む教育を行う。

生徒一人ひとりのニーズに応え、個性や才能を伸ばす特色ある教育プログラムや誰一人取り残さない教育活動に取り組む。

基本的方向性②

「各校」や「市立高校コミュニティ」の教育活動を支える取組・仕組みの充実

多様な取組を支えるため、地域や企業、大学等と連携・協働したサポート体制を構築する。

研修の充実等を通じた教員の資質・能力の向上と、働きやすい職場環境づくりを推進し、学校の教育力を高め、生徒の学びのさらなる充実へとつなげる。